

HATS TIMES

HONDA AUTOMOTIVE TECHNICAL SCHOOL

**学校法人ホンダ学園
ホンダ関西自動車整備専門学校**

〒589-0012 大阪府大阪狭山市東くみの木2丁目1937番地の1
TEL:072-366-9011 FAX:072-360-2230

発行責任者
校長 六角屋 雷太

ホームページ
http://www.hondacollege.ac.jp/honda_w/

iモード、J-SKY、EZweb
<http://ajtw.jp>

2006年4月1日 ホンダ学園は変わります

新学校名 ホンダ テクニカル カレッジ 関西

2006年4月1日からは、
現行の2年制の自動車整備
科に加え、3年制の自動車研
究開発科と4年制の二級自動
車整備研究科が始まり、学科
及び教育内容に見合った全く
新しい学科構成となります。
また2006年は、ホンダ学
園創立30周年であり、学園
創設者の本田宗一郎(故人)生
誕100年の節目にもあたり
ます。ホンダ学園は、この節目
に学校名を新しい学科構成
に見合ったものに変え、大き
く飛躍します。新しい学校名
は、「ホンダテクニカルカレ
ッジ関西」となります。同時
に姉妹校である関東校は「ホ
ンダテクニカルカレッジ関東」
となります。



- 赤は「心」と「志」
温かく、熱く、日出する太陽のごとし。
- 青は「技術力」
技(ワザ)のある手をイメージ。
- 緑は「行動力」
環境の緑もイメージ。

また、校章も変更いたします。
新しい校章は、全体のデザイン
として、人を支える「H」マー
クを形成し、ホンダテクニカル
カレッジが目標とする「心
と志」「技術力」「行動力」を
カタチにしたものです。

A HAPPY NEW YEAR 2006 新年のご挨拶



校長 六角屋 雷太

新年明けましておめでとございます。
昨年、夏場の世界的異常気象、12
月の異常な寒さとそれによる列車転覆
事故等によって自然の恐ろしさを再確
認し、また年末の日本の総人口が減少
を始めたことを報じるニュースによつて、
現代社会の問題を現実のものとして感
じた年となりました。

一方本校では、4月に新校舎が完成し
たことで、7月には本田技研の「サービ
ス技術コンクール近畿大会」を開催。学
生は目の前でプロの技を見学し、将来の
姿をより具体的にイメージすることが
できました。更に、9月より習熟度授業
もスタートさせることができました。こ
れらの活動の結果、企業CS調査、また
「昨年より進んでいる」実践力強化授業」

世の中が大きく変わる中、本年、ホン
ダ学園は創立30周年を迎えます。今
回の学校名変更は、新しい時代に向け
たホンダ学園の決意です。

教職員一同「期待を超える学生」の輩
出を目指し、常に原点に立ち戻り、考え
迅速に対応していきたいと思ひます。

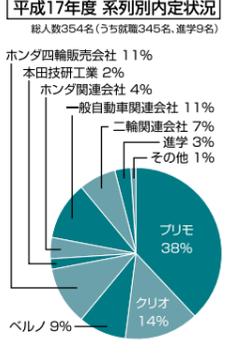
の成果もより高めることができました。
本年4月、本校では大きく変わる点
が4つあります。

1つめは、昨年度の習熟度別コース制
に加え今年よりコース別選択制をスタ
ートさせます。

2つめは、新学科「自動車研究開発科
(3年制)」のスタートです。もの造りを
志す中堅技術者の育成を目指した学科
です。

3つめは、二級課程の4年制化です。4
年間の一貫した教育を通して学び、二級
整備士受験資格(実技免除)を得ると
共に、大学卒業と同等の「高度専門士」
の称号を得て卒業し得ます。

4つめは、「ホンダテクニカルカレッジ
関西」への学校名の変更です。あわせて
校章も変わることになります。



就職100%内定
今年度の就職活動は各企業様のご支
援を頂き、12月初旬に全員が内定をい
ただきました。各企業様には日程の調整
等でご協力いただきました。本校では、近
年の就職試験の早期化に対応する為、1
年の入学早々から就職に対する意識付
けを行ってまいりました。しかし、まだまだ学
生個々には意識レベルに差があり、今後の
全体の底上げに取り組んでまいります。

就職内定者の声

私は2社目の試験直前に体調を崩し、
最悪の状態です。試験当日を迎え、何
とか気力を出して会社まで行きましたが、
結果は言うまでもなく不採用でした。し
かし、落ち込むことなく、常に前向きにチ
ヤレンジした結果、3社目に内定をいただ
くことができました。私が就職活動を通
して学んだことは、直前にバタバタするの
は無く、毎日の生活を高い意識をもって送
ること、体調管理の重要性です。1年生
の皆さん、2社の不採用の結果に落ち
込むことなく、最後まで頑張ってください！
(自動車整備科2年1組 西村 透)

12月8日(木)に開催された賛助会
企業セミナーに参加しました。各企業様
は、私達の参加態度や質問内容をしっかり
チェックされていてとても緊張しました。
このような緊張感も初めての経験で、今
後の就職活動に向けて大変貴重な体験
となりました。また、各企業様から社会
人として「求められる人物像」のお話を
聞くことができて「いつもより学生気分
はいられないな」と実感しました。今回
の企業セミナーを通して得た体験を今後
の就職活動にしっかりと活かし、自分の
夢の実現に向けて、今後の学園生活にチ
ヤレンジしていきたいと思ひます。
(自動車整備科1年5組 榊原 博明)

11月28日、12月2日、12月12日、
12月12日、12月16日の2回に分け、1
年生の安全運転講習が、鈴鹿サーキット
交通教育センターで行われました。講習
の目標は、「危険を安全に学ぶ」ことであ
り、安全運転のための基礎的な運転技術
や知識を養い、交通安全の一員として認識
を高めました。また、将来、お客様に安全
運転指導ができるホンダ・セーフティコ
ーディネーターの資格を取得するという
こともあり、学生達は普段とは違う、二
段と真剣な顔で受講していました。



二輪のスラローム走行

今回の講習の目的は「危険を安全に学ぶ」こと
でした。危険を知ってこそ安全が
わかるというものです。正しい運
転方法は、安全かつ楽しいというこ
とを実感したのが一番の収穫です。
まずはじめに習ったことは、乗車
の基本であるドライブイングポジション。
正確なポジションはブレーキの制動距離
を左右する大事なものであるから快
適な運転につながるのだということ
が確認することができました。交通業
界の一員として、講習で学んだ「安全で
楽しい運転」を提供していきたいと思
ひます。
(自動車ビジネス科1年 岡本 和幸)



岡本和幸君

12月7日(水)に(株)ホンダア
クセスの商品企画部・木村様、
サービス部・飯島様、富永様、舟
戸様、市場品質課・上田様をお
迎えして技術セミナーを実施し
ました。自動車購入後にお客
様の好みに合わせて取り付ける
アクセサリー等は、各販売店で取
り付け作業が行われます。ホン
ダアクセスの業務内容・商品内
容を学び、代表的なアクセサリーの
取り付け実習を行い、整備士とし
ての知識と技術の幅を広げました。



バンパー穴開け作業

2輪4輪の研究所でさまざまな乗り物の設
計・開発を行ってまいりました。その経験を活か
し、学生の皆さんにモノづくりのお手伝い
ができることを大変楽しみにしています。苦
労で作ったモノは大切な思い出ですが、その過
程のアイデア工夫、失敗成功の心に
残る「モノ」は永遠であり、しかも成長してゆ
きます。この学園で素晴らしい「モノ」を
作りましょう。

1月1日付
でホンダ学
園に赴任し
ました沼田
昌彦です。整備担当
で入社しま
したが、その後営業
商品企画など、いろいろ
な仕事を経験してまい
りました。一番に残り
たいのは「ディーラー
としての責任」として
の経験です。実際に
お客様と接し、お客
様に喜んでいただくこ
とこそ最も充実感があ
り、やりがいのある
仕事です。今後これ
までの経験を踏まえ、
学生の皆さんと共に、
より良い学園生活が
送れるよう頑張ら
せていただきます。

私が平成2
年にホンダ学
園関西校へ赴
任して以来、
時とは様相も
変じ、今や大
阪狭山市の
新名所ともい
うべき立派な
キャンパスも
できました。学
生の皆さんに
思ふ存分勉強
し、そして遊
び、悔いのな
い学生生活を送
って欲しいと
いう気持ちと、
信用を築くこ
とが大変だが
それを壊すの
は簡単である
という言葉を
贈りたいと思
ひます。信用を
築く第一歩は、
約束を守ること
から始まります。
皆さんの輝か
しい未来を祈
っております。



事務学生部 副部長 齋藤 栄一



自動車整備科 島田 功一



自動車研究開発科 中村 忠能



自動車整備科 沼田 昌彦

ホンダ学園の祭

HATS祭 2005

～魅せる楽しさ&創る楽しさ～

「HATS祭」とは、学生が主体となり、協力し合って創り上げる学園祭です。近隣の方々や保護者の方にも足を運んでもらい、参加していただくなど、一緒に楽しみ、交流を深める場です。

「HATS祭」は、12月10(土)にホンダ学園学園祭「HATS祭」が開催されました。4回目となる今回の学園祭のテーマは「祭！魅せる楽しさ&創る楽しさ」と題して、HATS祭の原点ともいえる技術コンクールをはじめ、各クラス、同好会によるイベントを展開。また、昨年は校舎建替えのため実施できなかった安全運転コンクールも復活し、今までにない魅力あふれる学園祭を行うことができました。



HATS祭の原点である技術コンクール

「情けない結果で終わらせない！」と、自分の中で大きくくたかっていた。全力で取り組みましたが、時間切れという最悪の結果になってしまいました。今年度参加する機会があれば、絶対リベンジしたいです！
(自動車整備科1年1組 國居祥吾)

「情けない結果で終わらせない！」と、自分の中で大きくくたかっていた。全力で取り組みましたが、時間切れという最悪の結果になってしまいました。今年度参加する機会があれば、絶対リベンジしたいです！
(自動車整備科1年1組 國居祥吾)



華麗なスラローム走行で校庭を駆け抜ける

安全運転コンクールには「場の雰囲気盛り上げる」という賞があり、この賞を狙って参加しました。目立つヘルメットを着用し、オフロード同好会の一員として最速で完走することに集中して走りましたが、残念ながら賞は獲れませんでした。午前の部の「一本橋」という競技で一番速い記録を出せたのが嬉しかったです！

「HATS祭」は、12月10(土)にホンダ学園学園祭「HATS祭」が開催されました。4回目となる今回の学園祭のテーマは「祭！魅せる楽しさ&創る楽しさ」と題して、HATS祭の原点ともいえる技術コンクールをはじめ、各クラス、同好会によるイベントを展開。また、昨年は校舎建替えのため実施できなかった安全運転コンクールも復活し、今までにない魅力あふれる学園祭を行うことができました。



車の隅々までキレイに！まごころ点検
売り切れ続出の飲食店
ひとつになれる最高の時間！軽音ライブ
法被姿で行う「成年・未成年の主張」

安全運転コンクール
自分の運転技術で盛り上げたい！

「HATS祭」とは、学生が主体となり、協力し合って創り上げる学園祭です。近隣の方々や保護者の方にも足を運んでもらい、参加していただくなど、一緒に楽しみ、交流を深める場です。

「HATS祭」は、12月10(土)にホンダ学園学園祭「HATS祭」が開催されました。4回目となる今回の学園祭のテーマは「祭！魅せる楽しさ&創る楽しさ」と題して、HATS祭の原点ともいえる技術コンクールをはじめ、各クラス、同好会によるイベントを展開。また、昨年は校舎建替えのため実施できなかった安全運転コンクールも復活し、今までにない魅力あふれる学園祭を行うことができました。

海外研修旅行
広大なアメリカを体感！



「バームスプリングス」でのバギー走行

第16回海外研修旅行では、今年もアメリカのホンダ・HRA・ホンダディーラーから大きな歓迎を受けました。学生達はアメリカの広大な敷地と設備の整った諸施設を見学。ホンダがアメリカに驚くほどしっかりと根付いていることを実感した一日でした。オフショナールツアーは全8コース、その中から2つを選んで参加。例年人気の高い「バームスプリングス」でのバギー走行では、広いアメリカを肌で感じ、新設の「リムジン工場見学」では、アメリカならではの車社会を体験。是非とも、今後の人生に活かしていただきたい貴重な体験となりました。

体が不自由になって見えてきたこと
アメリカに行く時、私は足を骨折して松葉杖をつきながらの参加となりました。しかし、アメリカでは体の不自由な人に対する偏見が少なく、街づくりに対しての配慮が感じられました。おいてもバリアフリーに配慮した設計で無理なく過ごすことができました。そして、考え方をはじめ、さまざまな点で日本とアメリカの間に違いがあることに驚きました。今回、アメリカを感じたこと、体が不自由になって初めて気づいたこと、自由になって初めて気づいたこと、このころの学園生活や、就職に活かしていきたいと思えます。



アメリカンホンダにて

「HATS祭」は、12月10(土)にホンダ学園学園祭「HATS祭」が開催されました。4回目となる今回の学園祭のテーマは「祭！魅せる楽しさ&創る楽しさ」と題して、HATS祭の原点ともいえる技術コンクールをはじめ、各クラス、同好会によるイベントを展開。また、昨年は校舎建替えのため実施できなかった安全運転コンクールも復活し、今までにない魅力あふれる学園祭を行うことができました。

ものづくり
自転車とバイクのコレクション！
こだわりの愛蔵スペシャリティクロス車！



KDS50Rと藤原孝史君

ものづくりの授業で、「みんなが驚くようなマシンを作ってみよう」と思ったことがKDS50Rを作ったきっかけです。当初は7人で作っていたのですが、メンバーの都合が合わず、最後は放課後や自分の時間を利用して1人で「生懸命作りました。KDS50Rの名前の由来は、「K」はそれぞれ頭の文字をつづつ取って命名しました。これからも人を驚かせ、感動させるようなマシンを作りたいと思います。」
(自動車整備科2年2組 藤原孝史)

餅つき大会
12月17日に寮行事の餅つき大会が行われました。雪がちかつく中に力いっぱい餅をつき音と掛け声が響き渡り、おいしそうな餅の香りが周囲に広がっていました。つきたての餅の味に「みんなが「おいしい」と口をそろえ、喜んでいました。あまり出ない体験だと思おうので、餅つき大会をこれからも続けてほしいと思います。」
(自動車整備科2年3組 宮川哲也)



学生寮の前にて

市内清掃
11月26日に寮行事の市内清掃を行いました。市内の清掃、回収したゴミの分別を通じて、リサイクルや環境保全の意識を高めるといった目的で、地域に貢献できる活動をしていきます。



街の隅々までゴミを回収

学園祭「HATS祭」を陰から支え続けてくれた、一級自動車整備研究科の山本君と安部君を特集しました！



一級自動車整備研究科 1年 山本 文 (以下Y) 一級自動車整備研究科 1年 安部 幸太郎 (以下A)

◆HATS祭お疲れ様でした！
一番印象に残ったところは？
Y／技術コンクールの段取りや進行、撤収作業などですね。各競技の担当の皆が協力してくれたおかげで、無事やり遂げることができました。ありがとうございました。A／皆の情報交換が行われていて、HATS祭へのやる気を感じたことです。

◆HATS祭を通して得たこと、学んだことは？
Y／段取り、本番、撤収までの一連の流れと、皆をまとめることの難しさを学びました。A／本番中にはたくさんさんのイレギュラーな出来事があり、必ずしも計画通りに上手くいかないと感じました。

◆来年度学園祭を行う学生達に一言！
Y／準備、段取りはできるだけ詳細に。早い段階から計画しているいろいろなチャレンジしてください。A／事前の計画がとて大変なので、企画書を早く仕上げ、全体的に余裕をもつて進行してください。

◆新しい試みや工夫したところがたくさんあると思いますか？
Y／音量測定やキャリパーピストンリレーなど、前年までなかった新競技を設けました。人気も予想以上で、大成功だったと思います。A／模擬店などクラス単位で

◆HATS祭を通して得たこと、学んだことは？
Y／段取り、本番、撤収までの一連の流れと、皆をまとめることの難しさを学びました。A／本番中にはたくさんさんのイレギュラーな出来事があり、必ずしも計画通りに上手くいかないと感じました。

◆HATS祭を通して得たこと、学んだことは？
Y／段取り、本番、撤収までの一連の流れと、皆をまとめることの難しさを学びました。A／本番中にはたくさんさんのイレギュラーな出来事があり、必ずしも計画通りに上手くいかないと感じました。



プレゼンテーション風景

◆HATS祭を通して得たこと、学んだことは？
Y／段取り、本番、撤収までの一連の流れと、皆をまとめることの難しさを学びました。A／本番中にはたくさんさんのイレギュラーな出来事があり、必ずしも計画通りに上手くいかないと感じました。

◆HATS祭を通して得たこと、学んだことは？
Y／段取り、本番、撤収までの一連の流れと、皆をまとめることの難しさを学びました。A／本番中にはたくさんさんのイレギュラーな出来事があり、必ずしも計画通りに上手くいかないと感じました。

◆HATS祭を通して得たこと、学んだことは？
Y／段取り、本番、撤収までの一連の流れと、皆をまとめることの難しさを学びました。A／本番中にはたくさんさんのイレギュラーな出来事があり、必ずしも計画通りに上手くいかないと感じました。



研修を終え、仲間やお世話になった人達とランチ(写真右から2番目 佐々木祐次君)